

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2 年 2 月 8 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503171		
	陽気株式会社		
事業所名	グループホームようき 法成寺		
所在地	広島県福山市駅家町法成寺2808-1 (電話) 084-949-3230		
自己評価作成日	令和2年1月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471503171-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471503171-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年2月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>業務改善に努め、ご利用者と関わる時間を増やすことに力を入れています。また、業務改善だけでなく、個々の力量向上にも努めています。面会時や変わりがあった際には、御家族と密に情報を共有し対応の方針を決めていくように全スタッフで取り組んでいます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者の出来ること、出来ないことを見極めて、個々の出来ることはして頂き、出来ないところは職員がサポートしている。ホームが目指すべき方針が明確化され、地域ニーズも取り入れた運営方針としている。研修体制の充実により、人材育成と共に、介護サービスの質の向上に取り組んでいる。個別ケアについて、家族の協力を頂き、職員は利用者のパートナーであることを意識し、本人主体で物事を常に考え、個々の希望や想いを把握し、希望を叶える取り組みをしている。働きやすい職場づくりに力を入れており、それにより、職員の定着もすすんでおり、職員同士が話しやすく協力し合う職場環境である。毎年度、目標を掲げ取り組みをしている。今年度は、「業務改善」を重点に取り組み、利用者に関わる時間を増やすなど改善している。理念を基に「良かったを増やす」取り組みを日々実践している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の目標を作成している。	年度初めに、代表者が目指すべき運営方針を打ち出している。前年度を振り返り、年度目標を掲げて月2回のカンファレンスで検証している。ホームでの取り組みは、2ヶ月に1回の法人内の管理者会議で代表者にフィードバックしている。今年度は、「業務改善」を重点に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	回覧板を回して頂くようお願いし、町内会の活動に積極的に参加させてもらっている。また、日々の挨拶を交わしている内、最近ではご近所の方から先に気付き、挨拶をしてくださる機会も増えてきた。野菜などを持ってきてくださる事もあり、交流する機会は増えてきている。	町内会への加入により、地域情報を得ている。秋祭りには、子ども神輿がホーム玄関前に訪問し交流がある。地域行事が少ない地域でもあり、職員は地域との付き合いの大切さを理解し、町内掃除に参加したり、散歩時に挨拶を交すことにより、野菜などを頂く機会が増えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議に隣接している地域の方、町内会長、民生委員等招いている。その時、勉強会を実施することで高齢者介護の理解を地域へ普及している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で取り上げられた内容はカンファレンスなどで報告、職員全員で検討を行い、サービスの改善・向上に活かしている。	家族の方が参加しやすいように、毎回開催日には、家族会（行事または食事会）を兼ねて実施している。ホームでの取り組み状況を報告することで、参加者から、アドバイスを頂き、日々の支援に活かしている。年2回、職員が講師となって勉強会を開催することで、高齢者介護の理解を広めている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービス向上に努めている。	市から研修などの案内があれば、可能な限り参加している。不定期で開催される市主催の介護保険事業所説明会に参加や、地域包括支援センター主催の地域密着型勉強会に参加している。随時連絡および連携を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会は定期的に行っており、研修に参加する場合もある。学んだ内容をカンファレンスなどで発表し、職員全員で理解・認識し、ケアにつなげている。玄関の施錠は夜間のみ行っており日中は開放している。	安全確認のため、ホーム内の必要箇所には、センサーチャイムを設置している。年間研修計画の中で、内部研修などを通し、職員個々の力量、成長していくシステムがある。具体的な介護方法について学び、常に職員は、身体拘束をしないケアを意識し、環境調整に努めている。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後活用していきたい。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし理解・納得して頂けるよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置すると共に、面会時に何か要望や意見がないか聞いている。運営推進会議や家族会などで頂いた意見は、職員全員に報告し、改善している。	毎月、担当職員が利用者のホームでの生活状況の暮らしぶり（通信）を送付している。面会時や電話連絡での報告、運営推進会議の中で、家族会を設け、意見や要望を聴く機会を設けている。意見などは、“家族ノート”を活用している。それらの意見などは、職員間で情報共有し、対応している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>個人面談の際やカンファレンス、日々の関わりの中で意見を聞く機会をもうけている。また、必要と思われる内容であれば、反映させている。</p>	<p>法人として、年1回の管理者と個人面談をする機会を行っている。職員のストレスが溜まらないように、必要時(1～5回)は個別面談の場を設けている。管理者は職員からの要望などを法人内の管理者会議で話し合い、改善に繋げている。研修の機会も設け、働きやすい環境を作る体制は整っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や胸の内を語りやすいよう、日々の会話を大切にしている。定期的に面談や必要に応じて話し合いを行う機会をつくり、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部の研修に行く機会を設けたり、事業所内や会社全体の研修を行うことで、職員のスキルアップを行っている。また、個人の教育計画をたて、達成に向けて進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の研修に参加したり、実習で知り合った同業者とのつながりを大切にし、サービスの質を向上させていけるよう努めている。また、相互研修へ参加している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ご本人に安心して日々過ごしていただけるよう、思いを汲み取ると共に、安心して胸のうちの話をいただける関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者と共にご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なサービスを見極めていけるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護される一方の立場に置かず、一緒に生活するなかで喜怒哀楽を共に感じあえる関係作りを築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人の状態や気持ちに変化が合った場合は、面会時、又は電話などで報告し、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個々の馴染みの人や場所などを職員全体が把握し、面会時に談笑しやすい環境づくりや、外出時に馴染みのある場所へお連れしたりと支援に努めている。	生活歴、日々の関りから要望把握に努めている。今までの生活習慣から、馴染みの場所（百貨店、理髪店、お墓参り、出生地へのドライブなど）へ個別対応で出掛けている。本人が大切にして来られた方々の面会時には会話を支援するなど、継続的に面会を頂けるような雰囲気作りを努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係を把握し、気の合うご利用者同士が時間を共有できる環境づくりに努めている。うまくかかわることが難しいご利用者には職員が傍に寄り添い、支えあえるような関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりといった関係が築けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望・意向などを面会時にご家族とご本人に聞いている。また、日々の暮らしの中でご本人から聞き取り把握して本人本位に努めている。	人生の中心は本人が主役である考え方をもとに、職員はあくまでもサポート役に徹している。日々きめ細かい観察を行い、言葉や行動から把握し常に本人本位で物事を考えている。1日2回の申し送り、月2回のカンファレンスで気付きを共有し快適な暮らしを支えている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後も面会時にご家族、ご本人よりお聞きしたことを記録に残し全員で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の一日の過ごし方や心身状態などを記録などで細かく残し、申し送りやシステムの確認により全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている。	以前は、計画作成者がアセスメントを実施していたが、本人をより理解している担当職員がアセスメントを行うように改善されていた。必要な関係者が現状に即した、きめ細やかな介護計画を作成している。理念に沿った介護計画となるように、職員は日々意識しながら利用者個々の支援をしている。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアの内容などを細かく記録に残し、申し送り、チェック表やシステムの活用により、職員全員が情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	趣味や様々な活動に応じていけるよう、地域の行事に参加したり、ボランティアに来ていただいたりしている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医及び、ご家族またはご本人が希望される専門の医療機関など、個々にとって適切な医療をうけられるよう支援している。	入居時に、かかりつけ医を決めているが、週1回の往診や緊急時にも連絡体制が整っていることもあり、大半の方が協力医となっている。会社で契約している、理学療法士の月2回訪問があり、個別リハビリや職員に対して介護アドバイスを受けられる体制づくりがある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内に看護師がいないため、介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを日々観察しており、かかりつけの医療機関の看護師とも日々相談やアドバイスをいただきながら連携をとって支援している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は度々面会に行き、状態の把握・病院関係者から情報収集を行ったり、ご家族と連絡を取り合いながら情報の交換を行っている。また病院が主催するカンファレンスへ参加し、早期退院できるよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居の契約時の際、看取りについてのアンケートを実施しています。また、ご利用者の状態に応じて出来るだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし全員で取り組んでいくようにしている。	看取りの経験があり、希望があれば看取りをする方針である。入居時に家族への説明は行われ、重度化した場合改めて家族と話し合いをしている。職員は研修や話し合いを行い、家族に寄り添いチームで支援出来るよう取り組んでいる。希望があれば家族は寝泊まりすることが可能としている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	一年に一回は訓練を行っている。そのほか個々で講習会に参加するよう促したり本で読んだりそれぞれ知識の向上に努めている。又、個々で勉強したことはカンファレンスで発表し、全員で情報を共有している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練で行ったり、地域の方々へのご協力も頂けるようお願いしている。	日中総合訓練、夜間想定訓練と実施している。地域の防災訓練は、地域住民と共に訓練を行っている。同法人グループが、ホーム周辺地区にあり、協力および連携体制を整備している。	地域の協力が実際に得られるように、運営推進会議などで災害対策について話し合いをしたり、災害はいつ起こるか分からないため、減災対策の取り組みとして、最低限3日程度の備蓄関係の準備が必要と思われます。



自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人格を尊重し、職員全員で声掛けや対応などに注意している。事業所内での勉強会も行っており、カンファレンスなどで対応の統一を行っている。	傾聴の姿勢を大切に、常に利用者主体で物事を考えている。職員は研修に参加したり、伝達講習や回覧を通じて支援に繋げている。日々の声掛けについても、職員同士が気づきを伝え、互いに刺激し合う職場環境である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声掛けに変えたりと出来るだけ本人に選択していただいたりと個々に合わせて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、個々のペースを大切にし、ご本人の希望にそった一日を過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には色の好みやその日の気温などをお伝えし、複数の中から選択していただいたりと個々に合わせて支援している。又、昔馴染みの理髪店などを希望される場合はお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な限り、家事活動に参加していただいている。また、日々の食事量を記録することで本人の状態を把握し、食事形態の変更等も検討しながら健康の維持に努めている。	昼食、夕食のおかずは、メイン厨房で作ったものを利用している。月2回の体重測定を行い、医師、栄養士、歯科医師、理学療法士と連携を図り、個々の食事形態を検討しながら対応している。月1回のおやつ作り、一品料理、買い物に出掛けるなど、職員は工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、個々の平均値の把握もしている。個々に応じた形で対応している。水分量の少ないご利用者へはカンファレンスで話し合い、個別に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあわせた方法で口腔ケアを行っている。歯科との連携によりアドバイスをいただき、改善に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンや習慣を把握し、排泄の失敗により自尊心が傷つかないように注意しながら、できるだけ自立した排泄を行っていただけるよう支援している。</p>	<p>医師、理学療法士と連携を図っている。立位可能な方は、座ることを基本としてケアに取り組んでいる。排尿・排泄パターンを把握し、トイレ誘導や紙おむつの工夫をしている。更に前傾姿勢保持テーブル、足台などを使用し、その人の残存能力を少し助ける事で、排泄の自立支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることはせず腹部のマッサージや食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり、エクストラバージンオイルの使用や、牛乳や豆乳を飲んでいただくなど、水分摂取の配慮などに努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えの少ない方も曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている。</p>	<p>入浴は週2～3回で、利用者の希望に合わせて、快適な入浴が出来るよう心掛けている。困難な場合には、声掛けを行いタイミングが合えば、入浴して貰うなど工夫しながら支援を行っている。適宜、入浴剤の活用や、希望があれば足浴を対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は決まっておらず、個 々の希望される時に休んでいただ いている。意思表示が難しい方は、 表情を観察したり、声掛けを行 いご本人が気持ちよく休んでいただ けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている。	薬については参考資料を置いたり 処方箋などで把握し全職員で共有 している。新しく処方された薬は 口頭や記録などに残し、全員が内 容を把握するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	今までの生活歴をご家族、ご利用 者から伺い、それを活かせる環 境づくりや、楽しめる時間を設 け気分転換をしていただけるよう 支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	地域の方の協力はお願いしてい ないがご本人の希望がある日、ま たは天気の良い日には出かけてい る。遠方や個別になる場合はご家 族と相談し協力を得て行っている。 買い物はできるだけご利用者と 共にしている。	年間の外出計画に予め予定表を 作成している。毎年恒例である福 山菊花展はとて好評である。気 候や利用者の要望に応じて、柔 軟に対応している。日頃は近く に買い物や散歩に出掛け、家 族の協力を頂きながら、外食、 自宅に帰る方もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援して いる。	ご家族、本人よりご希望のある 方は所持して頂き自由に使える ようにしていただいている。普段 はお預かりしているが買い物時 に所持して頂き一緒に買い物に 行っている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望がある場合は自ら電話で話しをしていただいている。手紙は職員が投函し、安心していただけるようご本人にお伝している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節のものを飾ったり四季を感じていただけるよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えている。</p>	<p>共用部分を丁寧に清掃している。衛生面にも気配りし、室温調整など小まめに行われている。自由に過ごせるように、出来る限り、危険に伴う個所や不便に感じる場所は、職員間で話し合い、住環境の整備に努めている。またテーブルやイスの配置を工夫し、居心地よく暮らせるよう支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>色々な場所に机や椅子を置いており、ご本人が過ごしやすい空間づくりに努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居心地の良い空間で過ごしていただけるよう、使い慣れたものや馴染みのある家具をご家族に持ってきていただいている。</p>	<p>入居時必要物品表を手渡し、準備している。家族の写真や今まで使っていた家具、大事にしていた物品などを自由に居室に持ち込んでいる。本人の身体機能や生活習慣に応じて、ベットまたは布団を敷き、居心地よく過ごせるよう、支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>できることはしていただき、できないところは手伝わせてもらっている。ご本人が不快にならないよう注意し、自然な声掛けや傍で見守りをさせていただき、トイレや居室などは人目で分かるよう表示している。</p>		

V アウトカム項目( 1階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の目標を作成している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	回覧板を回して頂くようお願いし、町内会の活動に積極的に参加させてもらっている。また、日々の挨拶を交わしている内、最近ではご近所の方から先に気付き、挨拶をしてくださる機会も増えてきた。野菜などを持ってきてくださる事もあり、交流する機会は増えてきている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議に隣接している地域の方、町内会長、民生委員等招いている。その時、勉強会を実施することで高齢者介護の理解を地域へ普及している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で取り上げられた内容はカンファレンスなどで報告、職員全員で検討を行い、サービスの改善・向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービス向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会は定期的に行っており、研修に参加する場合もある。学んだ内容をカンファレンスなどで発表し、職員全員で理解・認識し、ケアにつなげている。玄関の施錠は夜間のみ行っており日中は開放している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後活用していきたい。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし理解・納得して頂けるよう努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置すると共に、面会時に何か要望や意見がないか聞いている。運営推進会議や家族会などで頂いた意見は、職員全員に報告し、改善している		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個人面談の際やカンファレンス、日々の関わりの中で意見を聞く機会をもうけている。また、必要と思われる内容であれば、反映させている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の勤務状況や胸の内を語りやすいよう、日々の会話を大切にしている。定期的に面談や必要に応じて話し合いを行う機会をつくり、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部の研修に行く機会を設けたり、事業所内や会社全体の研修を行うことで、職員のスキルアップを行っている。また、個人の教育計画をたて、達成に向けて進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の研修に参加したり、実習で知り合った同業者とのつながりを大切にし、サービスの質を向上させていけるよう努めている。また、相互研修へ参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人に安心して日々過ごしていただけるよう、思いを汲み取ると共に、安心して胸のうちの話をいただける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者と共にご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なサービスを見極めていけるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護される一方の立場に置かず、一緒に生活するなかで喜怒哀楽を共に感じあえる関係作りを築けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人の状態や気持ちに変化が合った場合は、面会時、又は電話などで報告し、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共に支えていく関係を築けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個々の馴染みの人や場所などを職員全体が把握し、面会時に談笑しやすい環境づくりや、外出時に馴染みのある場所へお連れしたりと支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係を把握し、気の合うご利用者同士が時間を共有できる環境づくりに努めている。うまくかかわることが難しいご利用者には職員が傍に寄り添い、支えあえるような関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりという関係が築けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望・意向などを面会時にご家族とご本人に聞いている。また、日々の暮らしの中でご本人から聞き取り把握して本人本位に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後も面会時にご家族、ご本人よりお聞きしたことを記録に残し全員で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の一日の過ごし方や心身状態などを記録などで細かく残し、申し送りやシステムの確認により全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの内容などを細かく記録に残し、申し送り、チェック表やシステムの活用により、職員全員が情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>趣味や様々な活動に応じていけるよう、地域の行事に参加したり、ボランティアに来ていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医及び、ご家族またはご本人が希望される専門の医療機関など、個々にとって適切な医療をうけられるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内に看護師がいないため、介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを日々観察しており、かかりつけの医療機関の看護師とも日々相談やアドバイスをいただきながら連携をとって支援している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は度々面会に行き、状態の把握・病院関係者から情報収集を行ったり、ご家族と連絡を取り合いながら情報の交換を行っている。また病院が主催するカンファレンスへ参加し、早期退院できるよう努めている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居の契約時の際、看取りについてのアンケートを実施しています。また、ご利用者の状態に応じて出来るだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし全員で取り組んでいくようにしている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	一年に一回は訓練を行っている。そのほか個々で講習会に参加するよう促したり本で読んだりそれぞれ知識の向上に努めている。又、個々で勉強したことはカンファレンスで発表し、全員で情報を共有している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練で行ったり、地域の方々へのご協力も頂けるようお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人格を尊重し、職員全員で声掛けや対応などに注意している。事業所内での勉強会も行っており、カンファレンスなどで対応の統一行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声掛けに変えたりと出来るだけ本人に選択していただいたりと個々に合わせて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、個々のペースを大切にし、ご本人の希望にそった一日を過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には色の好みやその日の気温などをお伝えし、複数の中から選択していただいたりと個々にあわせて支援している。又、昔馴染みの理髪店などを希望される場合はお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な限り、家事活動に参加していただいている。また、日々の食事を記録することで本人の状態を把握し、食事形態の変更等も検討しながら健康の維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、個々の平均値の把握もしている。個々に応じた形で対応している。水分量の少ないご利用者へはカンファレンスで話し合い、個別に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあわせた方法で口腔ケアを行っている。歯科との連携によりアドバイスをいただき、改善に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンや習慣を把握し、排泄の失敗により自尊心が傷つかないように注意しながら、できるだけ自立した排泄を行っていただけるよう支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることはせず腹部のマッサージや食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり、エクストラバージンオイルの使用や、牛乳や豆乳を飲んでいただくなど、水分摂取の配慮などに努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えの少ない方も曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は決まっておらず、個 々の希望される時に休んでいただ いている。意思表示が難しい方は 、表情を観察したり、声掛けを 行いご本人が気持ちよく休んで いただけるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬については参考資料を置いたり 処方箋などで把握し全職員で共 有している。新しく処方された 薬は口頭や記録などに残し、全 員が内容を把握するよう努めて いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	今までの生活歴をご家族、ご利 用者から伺い、それを活かせる 環境づくりや、楽しめる時間を 設け気分転換をしていただける よう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	地域の方の協力はお願いしてい ないがご本人の希望がある日、 または天気の良い日には出かけ ている。遠方や個別になる場合 はご家族と相談し協力を得て 行っている。買い物はできるだけ ご利用者と共に行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	ご家族、本人よりご希望のある 方は所持して頂き自由に使える ようにしていただいている。普 段はお預かりしているが買い 物時に所持して頂き一緒に買 い物に行っている。		



自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合は自ら電話で話しをしていただいている。手紙は職員が投函し、安心していただけるようご本人にお伝している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節のものを飾ったり四季を感じていただけるよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	色々な場所に机や椅子を置いており、ご本人が過ごしやすい空間づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地の良い空間で過ごしていただけるよう、使い慣れたものや馴染みのある家具をご家族に持ってきていただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	できることはしていただき、できないところは手伝わせてもらっている。ご本人が不快にならないよう注意し、自然な声掛けや傍で見守りをさせていただき、トイレや居室などは人目で分かるよう表示している。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームようき法成寺

作成日 令和2年3月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	備蓄関係の準備が無い。	備蓄関係の準備を行なう。	会社と相談し、最低限の備蓄を確保する。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。